

知っておこう防災のこと

お子さんと日々過ごす中で、地震や大雨、暴風など、いつどこで災害に見舞われるか分かりません。いざという時のための準備や、「こんなときはどうする」という話を、日ごろから家族で話し合ひましょう。

大地震が起きたら

昨今では、テレビやスマートフォンによる緊急地震速報が普及しています。もしもの時のシミュレーションを「この音がしたら、机の下にかくれようね」と、大人だけでなくお子さんとも話をしておく、慌てず行動ができます。

家の中では・・・

まずは身の安全を確保。頑丈な机の下などへ。外へ飛び出さないようにしましょう。大人はお子さんを抱え込むようにして守ります。揺れが収まったら火の始末、外への避難路を確保しましょう。

外出中は・・・

かばんなどで頭を守り、お子さんと離れないよう、一緒に安全な場所へ移動しましょう。

台風などの大雨や暴風のときは

台風は急激に風や雨が強まることがあります。どうしても必要な外出以外は控えましょう。また、ゲリラ豪雨などで、思いもよらず浸水被害にあうかもしれません。気象情報に注意し、時には避難が必要になることも想定しておきましょう。

家の中では・・・

予報が分かっている場合は、家の周辺を点検し、物が飛ばないように片付け、庭木を固定しましょう。雨戸やカーテンを閉めましょう。

外出中は・・・

海や河川から離れましょう。地下街からは出ましょう。浸水してきたら、階段で高い建物の上の階へ移動しましょう。車の運転中はできるだけ水の少ない場所を選び、高台へ移動しましょう。

災害時に「知っておくべき5つのポイント」

1

避難とは、「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

2

避難先は、各小中学校、地域まちづくりセンター等ではありません。**安全な親戚・知人宅に避難**することも考えましょう。

3

マスク・消毒液・体温計が不足することがあります。できるだけ、ご自身で準備し、持参してください。

4

草津市が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には、**草津市ホームページ**等で確認してください。

5

豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないように**周囲の状況を十分確認**してください。



普段から備えよう

安全な住まいづくりを心がけましょう

- 家具を少なくする
- 家具は天井につくまでの高さに固定するか、低めのものにする
- 重い家具は1階に置く
- ガラス類には飛散防止フィルムを張っておく

情報収集の手段を確保しましょう

草津市では、災害時の緊急情報を屋外スピーカー、ラジオ (FM78.5MHz)、メール配信 (安全安心情報)、LINE、Xでお知らせしています。メールにつきましてはぜひ、登録をお願いします。



避難場所・避難経路を確認しましょう

ふだんから家族で避難場所や避難経路を話し合って確認しましょう。落ち合う場所を決めておくと安心です。



ご近所や友達との日頃からの仲間づくりに努めましょう

メール配信 (安全安心情報)

- ① 下の二次元コードを読み取り、空メールを送信します。



- ② 案内メールにあるURLにアクセスし、本登録をします。

※メールが届かない場合、迷惑フィルターにかかっている可能性があります。

問合せ 危機管理課 (TEL)561-2325 (FAX)561-6852

